

GOVERNOR'S

MONTHLY COMMUNICATION

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650 2016-17 FEBRUARY Vol.8

2016-17年度
ガバナー月信

2月号
Vol.8



2015年 平和シンポジウム

平和と紛争予防／紛争解決月間

JOIN LEADERS
EXCHANGE IDEAS
TAKE ACTION

CONTENTS

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. ガバナーメッセージ 1 | 6. 米山梅吉記念館便り 12 |
| 2. ロータリーモーメント 3 | 7. 地区通信 13 |
| 3. ロータリーコラム 5 | 8. 2016年11月会員数の増減および出席率 14 |
| 4. ロータリーの歴史 8 | 9. 2016-17年度11月会員の動き 裏面 |
| 5. ロータリー情報 11 | |



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム



2016-17年度 第2650地区

刀根 莊兵衛 ガバナー メッセージ



人類に
奉仕する
ロータリー



2650地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様へ

謹啓

大寒も過ぎ、いよいよ本格的な寒さがやって参りました。会長、幹事、会員の皆様にはますますご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

去る1月15日から一週間、米国サンディエゴにおいて国際協議会が開催されました。

その席上、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」も発表され、いよいよ新たなロータリー年度へ向けての準備が始まって参りました。

さて、2月は平和と紛争予防／紛争解決月間となっております。これはロータリーが定める6つの重点分野であり、国際ロータリーが世界の中で、最も支援を必要とする人道的奉仕のニーズとして捉えている項目の一つとなっております。

今日、紛争や迫害によって住むところを失った人びとは何百万人もおり、紛争被害者の実に90%が一般市民で、その半数が子どもだと言われています。また、世界で18歳未満の子ども30万人が少年兵として紛争に巻き込まれているとも言われています。

現在、ロータリーでは、貧困、不平等、民族対立、教育や機会の欠如といった、争いの温床となる問題への取り組みのほか、紛争を抑止・仲裁するためのスキル研修や難民支援など、様々な平和活動にも積極的に取り組んでいます。

この分野で私たちができる活動としては、具体的には、ロータリー平和フェローシップの候補者を探したり、紛争の要因（貧困、不平等、民族間の緊張、教育の欠如など）の解消に取り組むプロジェクトを計画したり、また理解と平和を推進するため海外のロータリークラブと友好を築き奉仕活動で協力するなどの活

動が考えられます。

平和と紛争予防／紛争解決は、確かにハードルの高い分野ではありますが、財団のグローバル補助金を活用して、是非、積極的なご検討を戴ければ幸いに存じます。

もうひとつ、2月と言えば、この23日は私たちロータリアンにとって特別な日となっております。1905年2月23日、創始者・ポール・ハリスは友人3人と最初にロータリーの会合を開きました。国際ロータリー(RI)は、この2月23日をロータリー創立記念日と定め、この創立記念日に合わせて、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を認識し、強調してほしいと呼び掛けています。

また、RIは2月23日の記念日から始まる一週間を「世界理解と平和週間(2月23日～3月1日)」(World Understanding and Peace Week)とし、世界理解と平和に関するロータリーの奉仕活動を強調しています。

ところで、RIが最初にこの世界理解週間を決定したのは、実は1957年のことでした。

その時は、ロータリーの創立記念日(2月23日)とは全く関係ない毎年3月20日を含む週を「世界理解週間」として設定していました。そして1969年には、この日程が9月15日を含む週に変更になり、1977年にRIは再度、世界理解週間の日程を変更し、現状の2月23日を含む週を、毎年特別に記念すべき「世界理解週間」と定めたのです。

そして、この週間に各クラブは、世界平和に不可欠な理解、親善を特に強調したクラブプログラムやその他の活動を行ない、また国際奉仕を中心としたプロ

グラムをもってこの特別週間を遵奉することが推奨されています。

また、1983年7月のRI理事会では、最初のロータリークラブ会合が開かれた2月23日を世界理解と平和の日（World Understanding and Peace Day）と定め、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならないと決議されました。

さらに、1992年の規定審議会において、この2月23日を中心とした一週間が多年にわたり、世界理解と平和に特に重点を置きつつ祝われてきたことから、この一週間を毎年特別に記念すべき世界理解週間と定めることが標準ロータリークラブ定款に明記されることになったのです。（標準ロータリークラブ定款 第16条 地域社会、国家、および国際問題 第4節 ロータリーの発祥を記念して）

ここで創立記念日に因んで、皆様と共に112年前のシカゴにタイムスリップして、ロータリー誕生の瞬間を振り返ってみたいと思います。

1905年2月23日木曜日の夜は、とても寒い夜で、ミシガン湖から吹き付ける、小雪まじりの身を切るような寒風が吹き荒んでいました。ポールと、彼の顧客でもあった石炭商シルベスター・シールは、イリノイ街18にあったマダム・ガリの店で夕食を摂りながら、兼ねてから話していたロータリークラブ結成の構想を具体的に説明しました。マダム・ガリの店は、テノール歌手のカルーソーなどの有名人がよく利用する、ポールお気に入りの店でした。

「私は実業家のクラブについて、ずっと考え続けてきました。それは、シカゴにある今までの社交団体とはまったく違った、新しい種類のものなのです。」

「それは、どのように違って、どんな意味を持つクラブなのですか？」シールは尋ねました。「そうですね。知己と友情を十分に強調したいですね。しかし、それだけではなく、会員同士がお互いのビジネスを伸ばせたらいいと思います。それは難しいはずはないと思うのですが。」

「例えば、二人の会員が同じ職業を持つことができないと決めればいいでしょう。そうすれば、クラブの中には競争相手がなくなります。もし会員の誰かが品物やサービスが欲しい時には、クラブ内の人と取引す

る義務を持たせたらいいでしょう。相互扶助の一種だけけど、どう思います？」

シールはポールの構想に全面的に賛同しました。二人はシカゴ川にかかる橋を渡って、シカゴ市ディアボーン街127 N.ユニティビル711号室にある鉱山技師ガスターバス・ロアの事務所に行きました。そして、既にその場で待機していたロア、洋服生地商ハイラム・ショーレーと共に、ロータリークラブ設立のための最初の会合が開かれたのです。

友人たちを見て微笑んでいたポールは、突然、緊張した面もちになって話し始めました。

この日の会合では、「一人一業種で親睦を深める会を作る」という設立の主旨が熱っぽく語り合われ、クラブには実業人だけではなく法律家、医師、宗教家と、あらゆる職業の人を集めることになりました。

（田中 毅PDG著『ロータリー歴史探訪』より引用）

まさにこの瞬間、『一人一業種』を基本とし『親睦と相互扶助』を目的とした初期のロータリークラブが誕生したのです。そして、その後次々と登場する卓越したロータリーのリーダーたちは、ロータリー哲学の構築やその実践に新たな息吹を吹き込みながら、今日までロータリーを進化、成長、発展させてきたのです。

創立記念日を迎えて、改めてポール・ハリスが抱いたロータリー創立への想いに心を馳せながら、これからのロータリーの夢を語り合っただけでいいでしょう。

あと約3年半で、日本のロータリーも誕生100年を迎えます。

「私たちのロータリーがこれからどうあるべきか」、「どうあり得るのか」、「何でもって人々に覚えられたのか」について皆で語り合うことは、次の100年に向かってロータリーが進むべき道を探る絶好の機会となるものと思います。

寒さが一層厳しくなっています。会長、幹事様はじめ会員の皆様、ご家族の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

謹言

2016-17年度ガバナー

刃根 荘兵衛

「一道を行く者は孤独だ。

だが前から呼んで下さる方があり

後ろから押して下さる方がいる」

坂村真民

ロータリー モーメント

Rotary Moment

2016-17年度滋賀第2グループガバナー補佐を指名されて 〈ロータリーの友情と信頼〉

2016-17年度 ガバナー補佐
川嶋 正昭（びわ湖八幡RC）

我がクラブに28年前チャーターメンバーとして入会させていただき、2年目に青少年委員長を拝命し、国際委員会と共同で海外の2姉妹クラブの内、台北北門RCと初めての取り組みである青少年短期ホームステイ事業が深く印象に残っています。

海外クラブへ小中高5名を引率するため言葉・食事・習慣・歴史等下調べに余念がありませんでした。結団式を行い、準備を整え、北門メンバーとは再々ファックスにて細かい打合せを行いました。空港に到着してからの全行程は北門RCとホストファミリーにお任せきりで、青少年達が貴重な体験を積み、無事帰国することが出来ました。

この事業を通じてロータリーの友情・ロータリアンの心意気を感じました。何の危惧も抱かず全幅の信頼を寄せることの安堵感はこれぞロータリーと心に刻みました。今日までこの事業は海外2クラブと毎年相互訪問することで継続されています。この入会当初の体験から特に新しいメンバー、若いメンバーの皆さんは国内国外を問わず姉妹クラブとの交流に積極的に参画されることをお勧め致します。

エンジョイロータリーとして、ロータリアンとしての長い足跡に心に残る1ページを刻むことになると確信致します。



ロータリーモーメント



2016-17年度 地区RLI委員長
田中 文夫（福井南RC）

光陰流水の如し ロータリアンとして43年が経過しました。この年月ロータリーから得た経験は人生の滋味であったと感じます。素晴らしい人々との出会い、身に過ぎた任務の体験、楽しい機会、友人や仲間を信じ合い、色々な活動に参加経験したことに

より、ロータリアンとして得たものは多い。又、日常指針の"四つのテスト"は我がものとして自然に実行出来るなどは至難のことですが日々活動の指標として人生への貴重な贈りものだと思っています。

高齢の現在、ロータリーのメンバーであったこと、特に現在もメンバーであることに感謝。ロータリーで経験した多く

のこと、全てが広い意味でのロータリー・モーメントだと思います。

強いてその中から選ぶなら、ロータリー独特の国際的プログラムを通じて体験した、GSE (= Group Study Exchange; 既にRIプログラムとしては終了している。)でドイツへの派遣団長、当地区国際交流友情交換として参加したニュージーランド、デンマーク・ドイツ、アメリカに派遣された思い出の数々ではないでしょうか。

ニュージーランドへは当地区の友情交換事業として5組の夫婦が参加しました。

1993年11月6日に関西空港を出発、乗り継ぎしながら翌7日クライストチャーチに到着、空港では多くのロータリアンの出迎え。その後夫婦は別れてそれぞれのホームステイ宅へ、たどたどしい英語での一夜、環境の変化に戸惑う。思い切ってこのプログラムに参加はしたもの、通訳なし、加えて現地でホームステイと、いざ始まったもの、当初は心細さ不安も募り少々憂鬱ではありましたが、現地で先ず多くのロータリアン家族との交歓が始まると、彼らの素晴らしい思いやりの心とホスピタリティー、加えて街の美しさ自然の雄大さに癒やされ、お陰で不安などは早々になくなり、期間中は心奪はれる楽しい旅が体験ができました。我々が現地で直ぐに出会った最大の”おもてなし”はニュージーランド・ロータリアンの優しさでした。

滞在は6日から14日迄9日間の事業でしたが、今でも楽しく煌めく記憶が心に残る最大級のロータリー・モーメントだと想います。

勿論、ロータリーでは”奉仕”も大事な要素ですが交流のあるところ国境を感じさせないロータリーの世界、多彩な人々と信じ合いお互いは友情で結ばれます。これはロータリーの真髄であり、ロータリーを通じて得られたロータリー・モーメントには心から感謝しています。



ロータリークラブは多様性の集まり



2013年5月、5000地区大会・ノースショア・タートルベイにて

2016-17年度 地区フェロシップ委員長
木下 公一 (京都南RC)

私は会員数の大変多い京都南ロータリークラブに所属していますが、入会してしばらくの間はロータリークラブとはかくあるべし、のような感じでロータリークラブを受け止めておりましたが、自クラブの海外姉妹クラブとのお付き合いを通して、其々の交流の仕方やロータリーに対する取り組み方も含めて国民性の違いをはっきりと感じる機会を持ちました。

京都南ロータリークラブには、タイと台湾、ハワイに海外姉妹クラブがあります。

それぞれの国民性故かとも思いますが、台湾は日本人にも増して几帳面な性格が感じられ、反対にタイやハワイはルーズなわけでは無いのですが形にとらわれないことがよく感じられました。

台湾とは毎年行ったり来たりをきっちりと交流しておりますが、タイやハワイは、地理的に遠いこともあり周年等で呼びかけをすればお互い訪問するものの、定期的な交流にはあまりそぐわず、個人的な付き合いを主にした交流が続いています。

しかしながらこのような国民性の違いを実感できるのは、ロータリーの仲間と言う大きなつながりがあるからこそ、海外に行っても上辺だけでは無い親密なお付き合いで感じる事ができたものと思っております。

中でもハワイのクラブで経験しました事は、ガバナー・パストガバナー始め日本では遠い存在と感じていた色々なお役をされている皆様と、一緒にバーベキューしたり本当に近い友人のようなお付き合いができたことです。

そのうえクラブ訪問した際には、当時の田中作次RI会長が平和フォーラムのあとでメイクアップに寄られており、同席させて頂いたり直接お話をさせて頂いた事など、自クラブのみに居ては考えられない経験までさせて頂きました。

この様な経験を通して、本当に世界にはいろいろな多様性を持った方がおられ、またロータリーへの姿勢や取り組みもそれぞれ違ってもロータリアンである事の喜びを感じさせていただきました。



2013年1月、平和フォーラム翌日のイーストホノルルRC例会にて

ロータリーコラム

第8回

2016-17年度ガバナー
刀根 莊兵衛



RIの戦略計画って一体何なのだろうか

RIのビジョン、ミッション、バリューそしてこれからの方向性

ロータリーがおよそ1世紀を迎えた2002年頃、これからの新たな世紀を見据えて更にロータリーが発展し、より機能的で活力のある組織に生まれ変わるための長期的な計画の必要性がRI本部で検討されました。そして、2007年6月理事会において、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針として、ロータリーの理念、ビジョンおよび活動を明確化して、社会の変化に適應できるように、ミッション(使命)、ビジョン、モットー、中核となる価値観、そして7つの優先項目が初めて発表になりました。その後、この長期計画“strategic plan”(のちに戦略計画に翻訳が変更)は定期的に改正され、ミッション(使命)、中核となる価値観、そして4つの優先項目に集約され今日に至っております。

現在この“strategic plan”は日本語では『戦略計画』と訳されていますが、『戦略』となると、攻撃や攻略対象となる敵対者の存在が前提とはなっているように感じられ、少し抵抗を感じているロータリアンも多いように思います。ただ英語の“strategy”は「特定の目的に対する枠組みや方向性」を指す事が多いようで、『戦略計画』と言うよりは『将来の方向性に関する計画』と言った方がより理解を得やすいかもしれません。

ところで、今世紀最大の経営学者と言われたP.ドラッカーは「戦略」という概念について、非営利組織においても組織の使命を明確にし、成果の

出るマネジメントを行なうべきとの考えから、「組織の使命と目的を行動に転化させるもの」と定義しています。また、ドラッカーは「顧客にとって価値のあるものは何か、どうやったら自分はその価値に迫ることができるか」を考えることともに、組織運営として「非営利組織においても、自分たちがとくに優れた能力を有する部分だけに集中すべき」などの戦略的思考が重要であるとも述べています。そして、この「非営利組織の戦略」において示される組織のミッションこそが、組織運営の中核的な概念であると言うのです。「ミッションからスタートしなければならない。ミッションこそ重要である。組織として、人として、何をもって憶えられたいか。ミッション(使命)とは、今日を超越したものでありながら、今日を導き、今日を教えてくれるものである」と組織のミッションの大切さをドラッカーは強調しています。

それでは組織のミッションとは一体何でしょうか。ドラッカーは著書『非営利組織の経営』のなかで、「ミッションとは行動本位たるべきものである。さもなければ単なる意図に終わる。ミッションとは、組織に働く者全員が自らの貢献を知りうるようにするものでなければならない」と定義しています。そして、組織のミッションによって、自らが貢献すべきものを知ることができたならば、次にそれを具体的な仕事として目標を設定し成果を上げることになるのです。

次に、ミッションに取り組み成果を上げるためには、次のようなことを行わなければならない

と、ドラッカーは指摘します。つまり、第一に機会としての顧客は誰かを知り、顧客にとっての価値は何かを知らなければなりません。もちろん、ロータリーにおける顧客とは、勿論、社会全体や自分自身を含めて人類全体ということでしょうし、提供すべき価値観は人類にとっても普遍的な価値観でもあると思います。第二に、そのミッションにおいて優れた仕事をするために、自らの能力と強みを生かしていかなる成果をあげるかを明らかにしなければなりません。第三に、そのミッションにどのようにコミットしていくのかを自らの信条と価値観を考えなければなりません。

大変前置きが長くなりました。

それでは、現在RIが示している、戦略計画の概要を少し見てみましょう。

使命 (Mission)

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

中核的価値観 (Core Values)

私たちの価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素です。ロータリーの中核的価値観は、奉仕 (Service)、親睦 (Fellowship)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) です。

その価値観を個々のロータリアンの具体的行動とし捉えると：

私たちは、親睦を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。

私たちは高潔性をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。

多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。

私たちは、奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。

以上が、現在のRIの戦略計画に書かれている概要ですが、不思議なことに、ビジョン(その後、コア・エッセンスに変更)はいつの間にかRI戦略計画から姿を消してしまいました。

それでも、一番大切なミッション、コアバリュー、そしてそれに基づくRIの4つの優先項目の目標が戦略計画で示されています。

ところで、ロータリーは110年の間、その時々優れた指導者が新しい指導原理や理念を発表しながら、進化発展させて参りました。振り返ると、奉仕理念、モットー、ロータリーの目的(綱領)、決議23-34、四つのテスト、道徳律、行動規範など数多くの指導原理や哲学が現在まで受け継がれています。今日、これらの従来の指導原理や理念・哲学と言ったものに更に戦略計画で述べられている基本的な概念が加わることになりました。それらの関連は一体どう理解すればよいのでしょうか。あまりにも複雑で、目まぐるしい変遷の中で少し混乱を来しているのではないかと思います。これらのロータリーの指導原理をどのように整理して考えるべきか、少し私見を述べさせていただきます。この章を終えさせて戴きたいと思えます。なお、このロータリーの中核的価値観につきましては、今後このコラムのテーマにして議論を進めさせて戴きたいと思えます。

まず「ロータリーの目的」や「ロータリー理念」とRI戦略計画の「使命」、「中核的価値観」との関連を明確にしておきたいと思えます。ドラッカーはミッションが一番組織の大切な根幹であると言われておりますが、現在のRI戦略計画のミッションはそのような位置づけにはないのではないかと私は考えています。私はドラッカーの言うミッションは、ロータリー運動においては、ロータリーの目的(ロータリー運動の目的)であり、RI戦略計画上のミッションはロータリークラブの集合体である世界組織としてのRIを最も象徴する姿としての使命であり、これはロータリーの目的の一部にすぎないのではないかと解釈しています。なぜなら、ロータリーの目的はRI定款に書かれたロータリー運動そのものの定義であり、これを改変するためには、全世界のロータリークラブの代表である代表議員の3分の2以上の賛成が必要な大変ハードルの高いものであります。

一方、RIの戦略計画にあるミッションはRI理事会による単なる決議であり、全世界のロータリアンが認めたロータリーの組織規約ではないからです。ロータリーの目的はロータリークラブ創設以来何度も書きかえられてきましたが、1951年以来60数年間一度も変更されたことはなく、現

在のようになっております。

一方、RI戦略計画に謳われているミッションには、『職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進する』と書かれており、これは目的の第4項を特に強調した内容ではないかと思われま

す。また、第1話でお話し致しましたように、ロータリー運動の目的は、そもそも設立初期から、事業を倫理基準の高い正しい経営に導くと個人生活における「奉仕理念」を適用の2つが目的であり、それらを通じで、世のため人のために尽くすことが求められております。まさに、米山梅吉翁が『ロータリーの例会は人生の道場』と喝破したと言われる所以がここにあるのです。

また、これとは別に、RI定款にはRIの目的が定義されています。これはRIの組織としての運営目的であり、これによれば、RIの目的は以下の3つになります。

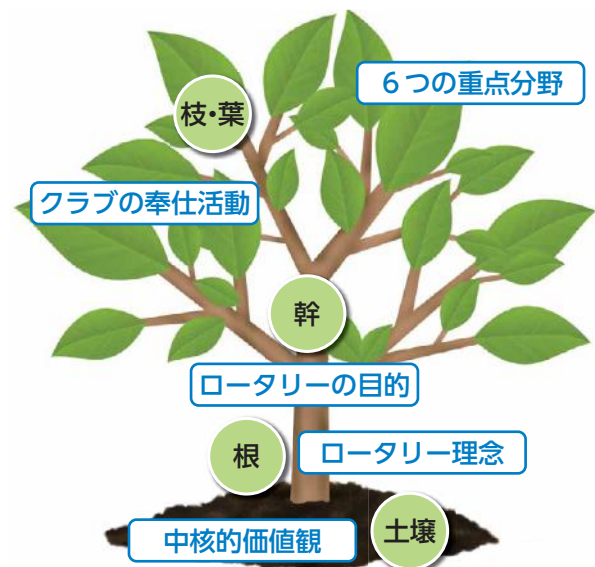
- (1) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追求しているRI加盟クラブとRI地区を支援すること。
- (2) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること。
- (3) RIの活動を調整し、全般的にこれを指導すること。

つまり、RIの存在目的はクラブ支援やロータリー思想の普及であり、決して、RI本部組織が先頭に立って世界理解、親善、平和を推進する活動や運動を展開することにはなっていません。奉仕活動の実践は、飽くまでもクラブが主体であり、ロータリアンが主役でなければならないのです。そして、このロータリーの目的に謳われているキーワードやその根底に流れる概念、風土が中核的な価値観である5つのコアバリューであると解釈できます。

更に、ロータリーの目的をクラブが実践した結果が個々のそれぞれの地域社会における奉仕活動の実践であり、またRIが奨励する6つの人道的な分野の活動実践となるのではないのでしょうか。私はロータリーの一つの大きな樹木と考え、下記のような図式を想定しているのです。まず、土壤に当たる部分はロータリーが本来持つ価値観に当たると思っています。そしてその土壤の中で大きく張った根はロータリーの基礎となる奉仕理念であ

り、地上に現れた太い幹はロータリー運動の目的、つまりロータリーの目的（綱領）です。そして、その幹から更に大きく伸びた枝や葉がそれぞれのクラブの奉仕活動であり、RIが推奨している6つの人道的な奉仕活動ではないかと思うのです。これは私の個人的な見解ですが、こんな風に考えるとRIの戦略計画と従来からのロータリーの指導原理が上手く説明できるのではと考えています。

皆様は如何お考えでしょうか。



(引用文献：ピーター・ドラッカー 『非営利組織の経営』)

参考

第4条 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの歴史

第8回 世界ポリオ撲滅への道を切り開いた

二人の日本人のあゆみ

ポリオ・プラスに命をかけたロータリアン

山田^{ツネ}彝さんに学ぶ

世界からポリオを撲滅させる。この壮大なロータリーの夢もあと少しで達成されようとしています。しかしこのロータリーの世界的なプロジェクトに、日本人のロータリアンが大きな貢献を果たしたことは、残念ながらあまり知られておりません。20数年の年月をかけ、ロータリーにとって初めての地球規模の財団プログラムが、全世界のロータリアンの協力を得て終結しようとしているとき、ポリオ撲滅に命を掛けたロータリアン山田^{ツネ}彝さんと峰英二さんの尊い志と崇高な奉仕活動に思いを馳せながら、二人の日本人ロータリアンの歩みを振り返りたいと思います。

1978年5月

この年開催された国際ロータリー東京大会において、東京麹町RC 山田^{ツネ}彝会員がインド、タイ、パキスタンとアメリカ、カナダを結ぶWCS フォーラムコーディネーターに指名された。

1979年

フィリピンのサビノ・サントス・パストガバナーがRIに自国におけるポリオの予防活動を要請。当時全世界のポリオ患者は約50万人。その45パーセントがフィリピンに集中。この要請を受けて、RIは同年9月に保健、飢餓追放及び人間尊重プログラムを設置して5年計画で600万人の子どもにポリオの予防接種を行った。

1980-81年度

山田会員は、この年度に計画されたRIタイ難民キャンプ救済プロジェクトのボランティア募集に応募。(但し本プロジェクトはタイ国内の事件により中止。)

1981-82年度

RIは75周年の記念事業として、3H計画(Health, Hunger and Humanit Grants: 保険、飢餓追放及び人間性尊重補助金)を発足。これはその名の通り健康改善、飢餓救済、人間性向上を目的としたもので、

各クラブや地区のレベルでは扱い切れないような国際規模のプロジェクトをその対象としたもの。ポリオ・プラス計画もその展開のひとつとして生まれた。これはWHOの一翼を担っての大計画で、世界中の幼児の健康を守る為にポリオのほか、麻疹、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核の予防接種を推進する計画。このポリオ・プラス運動の一環としての「インド麻疹免疫プロジェクト」の派遣ボランティアとして、東京麹町ロータリークラブの山田彝・峰英二の両会員が選出され、ひと月余りにわたり南インドで同プロジェクトの指導に奉仕。

1982年-83年度

東京麹町RCは山田会員の南インドにおける奉仕活動についての報告と、当時の松平PGの個人的奉仕活動を基本に、同クラブの創立15周年の記念事業の一つとして「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」を提唱し、100万円を基金として拠出。

1983年-84年度

山田彝会員が第258地区の世界社会奉仕委員会の委員長に任命され、このプロジェクトを地区の最優先プロジェクトとして推進。東京麹町RCは第320地区南インドマドラスRCと提携。

9月には同地区内13クラブと第275地区も共同提唱クラブとして参加。一クラブのプロジェクトから地区運営のプロジェクトへと発展し、事業は地区に移管。またロータリー財団に、このプロジェクトの特別助成金を申請。10月、5万ドルが交付された。本年度の2月～3月にかけて山田会員と峰会員がこのプロジェクトの為に三週間南インドで奉仕。この間東京麹町RCの寄贈による4500ドース(単位)のポリオワクチンが、両氏により現地の子供たちに接種。

1984年-85年度

RIはロータリー創立80周年を期にポリオ・プラス計画を開始。WHO、ユニセフとの共同で、世界各国にてポリオ撲滅の活動を行う。

1985年4月、再び山田、峰両会員が日本ユニセフ協会の協力を得て、多量のポリオ、はしかのワクチンを持ち、南インドで奉仕活動に従事。東京麹町RCは地区運営のプロジェクトとして発展した「南インド・ポリオ免疫プロジェクト」の交通費を、同クラブの世界社会奉仕委員会の予算で負担するなど支援。

1985年-86年度

山田会員が再度地区の世界社会奉仕委員長に、峰会員が同委員に選任され、当プロジェクトは国際ロータリーの3H計画のプロジェクト、ポリオ・プラス計画の中で最優先順位に指定。本年度1月、山田会員が南インドで奉仕活動に従事、この頃より山田会員はポリオワクチンの保存状態への疑問を持ち始めた。ワクチンはある一定の温度で保存しなければ効果がなくなってしまうため、運ぶときの温度管理がとても大切。ワクチンの効果を保ちながら、子どもたちの元に届ける一連の流れ、またそのために必要な設備（具体的には冷凍庫やクーラーボックス、停電したときの発電機も含めて）は「コールドチェーン」と呼ばれ、当時のインドでは十分な整備が進んでいなかった。

1986年-87年度

山田会員がRIポリオ・インターナショナルコーディネーターに就任。

1987年-88年度

山田会員の調査依頼に基づき、地区WCS委員会と同委員・那覇西RCの大宜見齊会員と、医師である那覇西RC大仲良一会員を南インドに派遣。両会員は3週間にわたる精力的な活動を行い「南インドにおけるポリオ・プラスおよびコールドチェーンの実態調査報告書」を提出。

1988年7月東京麹町RC 山田彝会員逝去。1989年6月東京麹町RC 峰英二会員逝去。

故山田彝氏、故峰英二氏のお二人は早くからポリオの惨状に深い関心を寄せ、南インドでポリオに苦しむ子供達に、ポリオワクチンの供与を2回に亘り実施され、その状況をつぶさに報告された。この報告がポリオ撲滅運動提唱の原動力となり、東京の2地区を通じ国際ロータリーのポリオ・プラス撲滅運動に発展致しました。国際ロータリーは1986年7月から5年間に亘り、地球上からポリオ・麻疹・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風等の撲滅を願い、1億2000万ドル（約200億円 日本担当分40億円）を目標として募金キャンペーンを実施し、1991年6月募金総額は2億1700万ドルに達し、当初の目標を遥かに越えてこのキャンペーンを終了した。

1995年の規定審議会において、世界がポリオから開放されたと証明される日が来るまでポリオ撲滅がロータリーの第一の目標であると決定された。

これらのロータリーの活動がきっかけとなり、世界保健総会が2000年までにポリオを撲滅するという決議を採択し、世界ポリオ撲滅推進計画の発足への道が開かれた。世界ポリオ撲滅推進計画は、現在国際ロータリー、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病予防センター（CDC）が主導団体となって推し進められている。そして1990年アメリカ大陸で最後の野生ポリオウイルスによる感染を確認。1994年には北中南米地域でポリオの絶滅が宣言された。次いで2000年に西太平洋地域で、2002年ヨーロッパ地域でポリオの絶滅宣言が成され、現在では全世界の99.9パーセントまでポリオを撲滅している。未だポリオ撲滅が成されていない地域は、未開発地域や紛争地域であり、宗教的偏見や非衛生的環境下にあり、活動に障害の多い地域です。

戸田孝PDGの『ロータリークラブに入ってよかった！ポリオ・プラスに命をかけたロータリアン山田彝さんに学ぶ』によると、国際ロータリーは、1978年の東京国際大会において3Hプログラム（保健、飢餓追放および人間性尊重プログラム）を発表し、1983年～88年にポリオプラス・プログラムに発展、創立100年にあたる2005年までに、世界の多くの子供を“死か障害を持って生きねばならない”ポリオを、地球上から撲滅する計画を決定した。ポリオの撲滅は全世界の幼い子供を持つ親たちの強い念願であった。1915年ニューヨーク市でポリオが大流行し、7,000人の幼い命を奪い、27,000人を麻痺させ、鉄の肺に入らねばならない子供の将来を打ち砕いた。日本でも1960年北海道夕張から始まり、瞬く間に北海道全土に広がり、幼い子供を持つ親たちの心配、苦しみは筆舌に尽くせないものであった。

ポリオ撲滅という壮大な計画を発足させるきっかけを作ったのは日本人である。ロータリー財団管理委員長カルロス・カンセコ氏は、正式の文章の中で次のように述べている。「私はボランティアたちによる一つの奉仕プロジェクトから、また新しい奉仕プロジェクトが生まれたことを実際に見ています。東京麹町ロータリークラブの山田彝さんは、1981年からハシカの免疫プロジェクトを監督するために、ボランティアとしてインドに行きました。その経験を生かしこのボランティアはポリオ免疫プロジェクトを発足させてきたのです」と。

私と山田さんの出会いは1986年に続き87年の国際協議会にグループリーダーとして参加した時であ

る。この年度の協議会は特別のものであった。「長期間の準備を終えて、この年度からポリオ計画の募金活動が始まったのである。朝9時から5時までの部門別のセッションを終え、夕食後7時から11時まで日本語グループでのポリオ計画の説明が2回にわたって行われた。説明者はインターナショナル・コーディネーターの山田彝^{ツネ}氏で、彼の経験に基づき詳しい説明と具体的な募金方法、質疑応答などが行われ、参加者全員が初めて耳にする壮大な計画に、果たして成功するかどうか誰もが不安を覚えたものだ。

山田さんがポリオ免疫プロジェクトを始めることになった動機を次のように話している。「私が仕事でインドへ行ったときのことで。夜遅くまで続いた会合の帰り、ギョッと立ち止まった。ガサガサと音がしたのです。犬か猫が餌をあさっているのかと、音の方向を凝視した時、月の明かりで私が見たものは、芝生の上をやせ細った少年が手と肘を使って這っている姿でした。それは今思い出しても胸が締め付けられるような痛々しい光景でした。多分幼い頃にポリオにかかり、足が麻痺してしまったのでしょう。この少年の姿を見たとき、私は南インドの子供たちを日本人の手でポリオから救いたいとの思いが生まれたのです」。

山田さんは、1981年からボランティアとしてインドのハシカ免疫プロジェクトに4週間の奉仕活動に従事し、その経験を生かして翌年、南インドのポリオ免疫プロジェクトを推進、近隣13クラブの共同奉仕として活動の幅を広げ、更に東京地区の100以上のクラブの協賛を得て、奉仕の中がさらに大きくなり、効果も上がってきた。国際ロータリーはこの活動の成果を検証し、ロータリー創立100周年の事業に意義ある事業として引き継がれることになったのである。毎年50万人の子供がポリオにかかり、大変な問題になっていたが、今や20億の子供にワクチンを投与して最終段階に入っている。天然痘の撲滅は200年かけて成し遂げたが、それより更に難しいといわれるポリオを、WHO、ユニセフ、主要各国と協力して、ポリオプラス・プロジェクトを20年で達成しようとの計画が、全世界のロータリアンの力強い協力によって成し遂げられることを考えれば、ロータリーの偉大な力に驚嘆するばかりである。

山田さんは講演の最後に「世界は急速に変わっています。人間が月へ旅行できること、他人の臓器で生命を救うこと、生活水準の向上など、しかし世界

の子供たちはみんな健康で幸福に育っているでしょうか？日本や先進国は恵まれています、然し発展途上国では想像もつかないほど悲惨な状態が続いています。どうか皆さんの手で発展途上国の子供を救ってあげてください！お願いいたします」と眼にいっぱい涙をためて、深々と頭を下げて話は終わるのである。参加者の拍手はいつまでも鳴り止まなかった。山田さんと私の出会いは、国際協議会の2週間、稚内の地区大会、利尻礼文島のエクスカーションで肩を組んで知床旅情を唄い、浜松の地区大会で水割りを飲みながら時間を忘れて話し合ったなど、短時日であったが密度の濃い交友は、私の人生に宝石のような輝きを心の奥底に刻み込んでいる。

私より2歳上の山田さんは東京大学を卒業、富士ゼロックス東南アジア地域支配人をつとめ、1987～88年度の東京麹町ロータリークラブの会長をつとめられた。浜松の地区大会で別れる時、彼は「今から松江の地区大会に行きます、来年4月の大阪城ホールでの貴方の地区の大会でお会いすることを楽しみにしています。お元気で」と固い握手をして別れたのが最後になった。「検査入院しているようですよ」と風の便りに聞いてまもなく訃報が入った。7月12日、山田彝^{ツネ}氏死去 享年64歳。その直前のフィラデルフィアの国際大会で、ポリオ・プラス計画についてのアナウンスがあり、全世界のロータリアンの善意の寄付金がワクチン購入予算の2倍に達したことが感動的に報告され、大成功が報じられたのである。彝^{ツネ}さんはこの報告を病床で聞いたであろうか知るよしもない。私はちょっと前かがみ、背の高い、美しいグレーの髪、優しい眼で、はにかみながら熱をこめて話す山田彝^{ツネ}さんの姿を忘れることはできない。

「自分のことを後回しにして、人の為に尽くす人々のことを決して忘れてはならないと思うのである」。今日本では会員増強の難しさに直面している。しかし周知を集め、楽しいクラブ、お互いが磨きあい信頼しあい助けあい温かいクラブにするために、みんなが努力することで新しい会員を迎えることができることを信じている。山田彝^{ツネ}さんが、身命を賭してポリオ・プラス計画の端緒を開かれたことを考える時、そのような志の一端を受け継いでくれる新しい仲間を迎えることの大切さは誰もが認識できるであろう。お互いに力をあわせて会員増強に全力を投入しようではないか。

(引用文献：2660地区 戸田 孝PDG (八尾RC)
ロータリークラブに入ってよかった！



ロータリー情報

クラブ自主性 (自治権) についての最近の話題

ロータリー章典2016年4月変更

8.010. 活動に関するクラブの自主性 (Club Autonomy of Activities)

クラブは、地元地域のニーズに応じて独自のプログラムを開発すべきである。クラブのために特定の奉仕プロジェクトやプログラムを提唱したり、指示したりすることは、RIのプログラムの範囲内ではない。

RIの基本原則は加盟クラブの実体のある自主性 (自治権) にある。

クラブに対する組織上や手続上の制限は、ロータリーの基本的で独自の特性を保つため、必要最小限に保たれる。その条件の範囲内で、特にクラブレベルにおいては、RI方針の解釈や実施に於いて、最大限の柔軟性がある。

(2016年4月理事会会合、決定157号)
Source: May-June 1927 Mtg., Bd. Dec. XIV(b)(3); May-June 1958 Mtg. Bd. Dec. 202; Amended by November 2004 Mtg., Bd. Dec. 59; April 2016 Mtg., Bd. Dec. 157)

そのほか「自治権」ということに関しまして、最近の発言を少し探してみました。

自治権 (じちけん) は、国際的・帰属的に中立の少数民族集団あるいは国の一部分である地方又は国に属している領土の住民が内政を独自に行使できる権限である。その民族や地方・領土は内政に関して国の関与を全く或いはほとんど受けないが、外交の権限を有していない。外交権を有すると自治権ではなく独立 (独立国家・主権国家) となる。

自治権という言葉を使用している例を、2013年3月のロータリーの友で、ローン・バートン元会長が言われた言葉や、規定審議会での立法案16-151を見つけました。

1. ロン・バートン会長 (「ロータリーの友」2013年3月号)

「ロータリーの組織構造を考えた時、ロータリーにはRI理事会と自治権を持つ34,000のクラブがあります。

私たちが認めるか認めないかはともかく、多くのクラブはエバンストン (RIの本部) で何が起きているのかなどということは気にも留めていないので、自治権を持つクラブの存在は世界最高の保険に入っているようなものです。これには弊害もありますが、良い面もあります。そして、良い面を活かし (活かせば)、多くを達成できると思います。」

この場合、ロン・バートン元会長が言われる自治権は、RIはクラブの連合体で、各クラブがRIとは独立した組織で上下関係がなく、独立採算で運営しているという程度の意味ではないかと思えますし、保険というのはロータリーという名前やブランドイメージで守られている (もちろん、そのための必要最低条件はありますが) という意味ではないかと解釈致しました。

2. 決議案16-151

自治権を有することの趣旨を正しく理解するようクラブに対して注意を喚起することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者：宝塚中ロータリークラブ
(日本、第2680地区)
承認者：第2680地区大会 (日本、兵庫県、神戸市)
(2013年3月2日)

採択 A (274 : 208)

生き生きとしたクラブの自主的な活動がロータリーに活力をもたらす。ロータリー章典は、「クラブは、地元地域のニーズに応じて独自のプログラムを開発すべきである。クラブのために特定の奉仕プロジェクトやプログラムを提唱したり、指示したりすることは、RIのプログラムの範囲内ではない。(ロータ

リー章典 8.010.)」としている。

すなわち、RI とクラブは、基本的には対等の関係にあり、上下の関係ではない。したがって、クラブが、RIの推奨プログラムをもって RIから指示強制されたものと理解したり、逆に RIの推奨プログラムのみを実行して事足りると理解することは正しい理解とは言えない。

よって、国際ロータリーの決議により、RI理事会は、クラブに対し、それぞれのクラブが、RI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款およびロータリー章典の定めと矛盾しない限り自治権を有することの趣旨を正しく理解するようにあらためて注意を喚起することを検討するよう、RI理事会に要請するものである。

(本文終わり)

趣旨および効果

それぞれのクラブが生き生きとした自主的な活動をするにより、ロータリーに活力をもたらす。クラブが、RIの推奨プログラムの実施を検討するとともに、クラブの所属する地域のニーズに応じた奉仕プロジェクトやプログラムを自主的に提唱し実

施することは、クラブ自治権の発現として、クラブが、より良く、より幅の広い奉仕活動を行うことが出来ることにつながる。

従って、国際ロータリーの決議により、RI理事会は、クラブに対し、それぞれのクラブがRI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款およびロータリー章典の定めと矛盾しない限り自治権を有することの趣旨を正しく理解するよう、改めて注意を喚起することが必要であると考えられるものである。

16-151につきましては、

「クラブが、RIの推奨プログラムの実施を検討するとともに、クラブの所属する地域のニーズに応じた奉仕プロジェクトやプログラムを自主的に提唱し実施することは、クラブ自治権の発現として、クラブが、より良く、より幅の広い奉仕活動を行うことが出来ることにつながる」と趣旨説明で述べている通り、RIがあまり奉仕プロジェクトやプログラムを強制しないように、理事会決議を促したものと思います。

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑥ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、明治29年に米山はると結婚し、長女・愛子、次女・澄子、長男・東一郎、次男・駿二、三男・桂三をもうけました。愛子さんは高木逸雄氏に、澄子さんは荒川昌二氏に嫁しました。しかし東一郎さんを梅吉52歳の時に20歳で亡くし、駿二さんを58歳の時、21歳の若さで亡くしています。

東一郎さんは海軍兵学校に進みましたが近眼で初志を貫徹せず、慶応義塾大学理財科に編入、走り高跳びの選手にもなりました。駿二さんは中学入学後、ゴッホ「自画像」を手本に絵筆を動かし、やがては白瀧幾之進画伯の門をたたくような人柄でした。長男、次男を亡くした米山の嘆きやいかに。



養父母金婚式の祝いの家族写真
(米山梅吉46歳)

米山梅吉 関連図書 の紹介

文庫判
谷内宏文著
本文369ページ
890円



点描 米山梅吉 新風舎刊
「米山梅吉伝」をふまえ、さらに新しい視点から米山の人物像に迫った1冊です。特に金融界での活躍や、三井報恩会での事業について深く掘り下げた、奉仕の人米山梅吉を知る格好の好著です。現在は一般書店では手に入らず、米山記念館のみで取り扱い中です。

米山梅吉記念館へのご来館歓迎
クラブの移動例会、個人での来館歓迎。日本のロータリー創設者米山梅吉の生涯、奉仕活動、社会貢献や根幹にあるロータリー精神を、学芸員の解説でより深く知ることが出来ます。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館
登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

地区通信

第28回 RI第2650地区 刀根荘兵衛ガバナー杯野球大会報告



今年で第28回を迎えます第2650地区ガバナー杯野球大会。

2016年11月5日及び26日に滋賀県希望が丘文化公園内の野球場にて開催させていただきました。

奈良・京都・滋賀から11チームがエントリーいただき、当日、残念ながら事情により2チームが棄権をされ、9チームでの大会開催となりました。

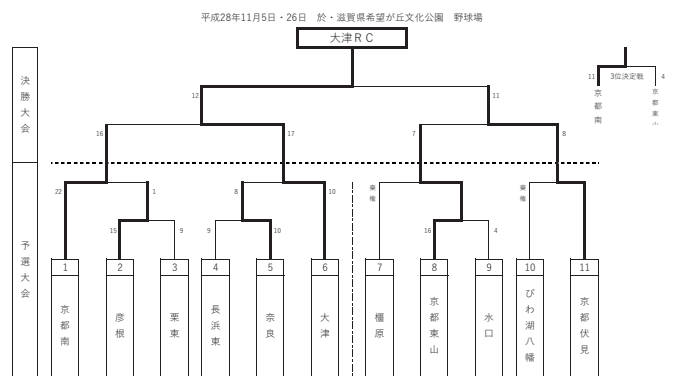
まさしく、好プレーあり、珍プレーありの笑いの絶えない雰囲気の中ではありますが、各チーム優勝目指して真剣に白球を追いかけておられました。



今大会の優勝は滋賀・大津RCさんでした。昨



ホストクラブ 栗東ロータリークラブ 野球同好会
代表 木下 兼一



大会結果

優勝：大津RC 準優勝：京都伏見RC 第3位：京都南RC
平成28年11月5日・26日 於・滋賀県希望が丘文化公園 野球場

年度優勝チームの京都伏見RCさんとの決勝戦でしたが、準決勝戦をサヨナラ勝ちで勝ち上がった勢いで、なんと決勝戦もサヨナラ勝ちで優勝。大変盛り上がった大会の最後にふさわしい好ゲームでした。

最後になりますが、開会式、閉会式にご参加いただきました山本幹事長、川嶋ガバナー補佐はじめ、ご協力いただきましたガバナー事務所のみなさまにお礼申し上げますと共に、拙いホストの運営にご協力いただきました参加チームの皆様にお礼を申し上げます。

* 1月号月信クラブ通信「小倉山特別保存地区竹穂垣補修改善報告」の久保和子様への肩書きに間違いがございましたので、訂正させていただきます。P13の下段、「(誤) 地区社会奉仕委員長」を「(正) 社会奉仕委員長」と訂正させていただきます。謹んでお詫び申し上げます。

第2650地区 2016年11月 会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	28	0	0	28	28	1	0	3	96.30	1
福知山	60	0	0	60	59	3	2	3	94.61	0
福知山西南	42	1	0	43	40	3	0	5	89.52	0
亀岡	29	1	0	30	29	1	0	5	100.00	0
亀岡中央	11	0	0	11	11	0	0	3	83.33	1
京丹後	29	0	0	29	29	0	0	3	81.29	1
京都	203	4	0	207	191	18	2	4	99.60	0
京都伏見	97	0	2	95	94	4	2	3	88.64	10
京都平安	23	0	0	23	23	0	0	3	85.00	6
京都東	92	0	1	91	91	2	2	4	95.43	0
京都東山	79	0	0	79	73	6	0	5	88.34	4
京都北東	25	0	0	25	25	0	0	4	84.39	1
京都城陽	33	0	0	33	32	1	0	4	100.00	2
京都桂川	30	0	0	30	29	1	0	3	92.31	0
京都北	69	1	0	70	68	3	1	3	84.53	0
京都南	233	0	0	233	230	5	2	2	96.33	0
京都モーニング	41	0	0	41	40	1	0	4	90.60	3
京都紫野	58	0	0	58	56	3	1	4	100.00	0
京都中	40	1	0	41	38	3	0	4	97.56	0
京都西	104	2	0	106	103	3	0	3	99.66	0
京都西山	20	0	0	20	20	0	0	3	100.00	1
京都乙訓	40	0	0	40	41	0	1	4	89.15	1
京都洛中	93	1	0	94	91	5	2	4	100.00	0
京都洛北	72	0	0	72	71	1	0	3	95.37	0
京都洛南	33	0	0	33	32	1	0	5	90.42	2
京都洛西	53	0	0	53	49	4	0	4	92.45	6
京都洛東	43	0	0	43	43	0	0	3	95.95	0
京都嵯峨野	23	0	0	23	23	0	0	4	71.74	1
京都さくら	25	0	0	25	26	0	1	3	79.17	8
京都西北	43	0	0	43	42	1	0	3	78.11	2
京都西南	46	0	1	45	44	2	1	4	95.49	4
京都紫竹	37	0	0	37	37	0	0	3	98.72	2
京都朱雀	36	0	0	36	34	2	0	4	84.25	4
京都田辺	20	0	0	20	19	1	0	3	100.00	3
京都山城	27	0	0	27	26	2	1	3	88.67	0
京都八幡	31	0	0	31	31	0	0	5	93.16	4
舞鶴	28	0	0	28	28	0	0	5	91.30	0
舞鶴東	38	0	0	38	37	1	0	3	78.25	4
宮津	34	0	0	34	34	1	1	5	97.65	0
園部	23	0	0	23	23	0	0	3	100.00	0
宇治	40	0	0	40	39	1	0	4	98.63	1
宇治鳳凰	48	0	0	48	47	1	0	3	90.78	6
小計	2,179	11	4	2,186	2,126	81	19	3.6	91.83	78

奈良県 (14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	55	0	0	55	56	0	1	3	93.59	0
五條	34	0	1	33	34	1	2	4	89.50	1
平城京	24	0	0	24	24	0	0	3	80.41	2
生駒	23	0	0	23	22	1	0	4	86.96	3
橿原	46	0	0	46	46	0	0	4	87.92	1
奈良	125	1	0	126	125	2	1	3	92.85	4
奈良東	37	0	0	37	38	0	1	4	95.74	0
奈良西	43	0	0	43	43	1	1	3	85.45	2
奈良大宮	67	0	0	67	68	0	1	4	97.49	0
桜井	17	1	0	18	15	4	1	3	93.30	4
大和郡山	52	0	0	52	52	0	0	4	89.98	2
やまとまほろば	31	0	0	31	32	1	2	3	84.98	3
やまと西和	25	0	0	25	24	1	0	3	90.07	2
大和高田	97	1	0	98	95	3	0	5	99.18	4
小計	676	3	1	678	674	14	10	3.6	90.53	28

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	129	0	0	129	125	7	3	3	84.34	11
福井あじさい	64	0	0	64	64	1	0	4	86.69	5
福井フェニックス	56	0	0	56	56	2	2	4	83.04	9
福井東	47	0	0	47	46	1	0	4	90.89	9
福井北	105	1	0	106	105	3	1	4	63.93	10
福井南	34	0	0	34	35	1	2	4	86.44	1
福井西	34	0	0	34	32	2	0	4	84.68	3
福井水仙	22	0	0	22	22	0	0	3	72.73	2
勝山	29	0	0	29	28	1	0	4	87.50	4
丸岡	37	1	0	38	34	4	0	4	81.55	1
三国	32	0	0	32	32	0	0	4	85.60	4
大野	41	0	0	41	40	1	0	3	69.17	2
鯖江	33	0	0	33	32	1	0	4	83.85	3
鯖江北	13	0	0	13	13	0	0	4	76.92	0
武生	57	1	0	58	57	2	1	4	75.32	2
武生府中	30	0	0	30	30	0	0	3	100.00	0
敦賀	34	0	0	34	33	2	1	4	83.98	1
敦賀西	19	0	0	19	17	3	1	3	80.70	1
若狹	28	0	0	28	26	3	1	3	100.00	1
小計	844	3	0	847	827	34	12	3.7	83.02	69

滋賀県 (21クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	43	0	0	43	42	2	1	3	89.87	1
五個荘能登川	21	2	0	23	21	2	0	3	80.65	0
東近江	32	0	0	32	30	3	1	4	86.58	0
彦根	62	0	0	62	62	2	2	3	89.06	5
彦根南	66	0	0	66	63	4	1	4	98.36	0
湖南	39	0	0	39	40	0	1	3	97.88	3
草津	29	0	0	29	30	0	1	3	93.78	0
水口	37	0	0	37	37	0	0	4	95.69	0
守山	39	0	0	39	39	0	0	4	93.32	1
長浜	63	0	0	63	59	5	1	4	99.58	3
長浜東	59	0	0	59	58	3	1	4	98.24	0
長浜北	27	0	0	27	26	1	0	4	86.12	4
近江八幡	44	0	0	44	44	1	1	4	96.07	1
大津	113	2	0	115	109	6	0	5	100.00	5
大津中央	30	0	0	30	29	1	0	3	85.40	4
大津東	26	0	0	26	22	4	0	3	88.00	4
大津西	20	0	0	20	20	0	0	3	98.15	0
栗東	44	0	0	44	43	1	0	3	89.15	2
高島	44	0	0	44	44	0	0	4	100.00	2
野洲	41	0	0	41	40	1	0	5	91.21	2
八日市南	47	0	0	47	48	0	1	3	78.20	2
小計	926	4	0	930	906	36	11	3.6	92.16	39

Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリーEクラブ2650	49	0	0	49	50	1	2	3	100.00	5
小計	49	0	0	49	50	1	2	3	100.00	5

合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	11月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
合計	4,674	21	5	4,690	4,583	166	54	3.5	90.07	219

■表作成にあたって
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
 ・入退会者数、11月会員数および入退会者累計数は11月末現在です。
 ・「期首会員数」は、平成28年7月1日入会の会員数を含みます。

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 11月 会員の動き

11月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井北	田中 寛之	証券引受
丸岡	関山 雄士	旅館業
武生	柿谷 好彦	食品製造
五個荘能登川	足立 直也	機械組立
五個荘能登川	青峰 真雄	仏教
大津	草野 勝	空手道
大津	吉居 龍治	建築設計
福知山西南	足立 康幸	スーパーマーケット
亀岡	本間 憲	税理士
京都	押川 正大	不動産賃貸

クラブ名	氏名	職業分類
京都	松井 明太	日本料理
京都	長瀬 文彦	和菓子製造販売
京都	櫻本 昌也	電信・電話事業
京都北	本田 光世	消化器化医
京都中	畑 宏明	化学工業
京都洛中	蒲生 幸二	ビル管理
京都西	戸倉 英雄	日本画
京都西	深堀 勝謙	食品製造販売
大和高田	村野 淳二	貸ビル
奈良	松井 昭光	墨製造
桜井	安田 慶治	自動車販売

11月退会者一覧

クラブ名	氏名
京都伏見	山本 賀則
京都伏見	伊熊 浩之
京都伏見	山岡景一郎

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
京都東	高折 修二
五條	井上 猛

文庫通信 (352号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン (1)

- ◎「父 北島亘とロータリー」北島メリー・エミ 1963 3p
 - ◎「大夢翁 土屋元作」日出R.C. 編 1996 199 p
 - ◎「井坂孝の足跡」鈴木清次編著 2009 221p
 - ◎「村田省蔵の思い出」伊藤武雄 1963 3p
 - ◎「父 朝吹常吉を憶う」朝吹英一 1963 4p
 - ◎「父 市左衛門を憶う」森村義行 1963 4p
 - ◎「真のロータリアン平沼亮三」上野 健 1963 4p
 - ◎「父 岡崎忠雄の面影」岡崎 忠 1963 4p
 - ◎「星野行則翁の思い出」磯野 巖 1963 4p
 - ◎「宮脇 富バスターガバナーを偲んで」東ヶ崎 潔 他 1968 13p
- [上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

Rotary
District 2650



Kyoto
Nara
Shiga
Fukui

国際ロータリー第2650地区
2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所●
〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2016-17@rid2650.gr.jp